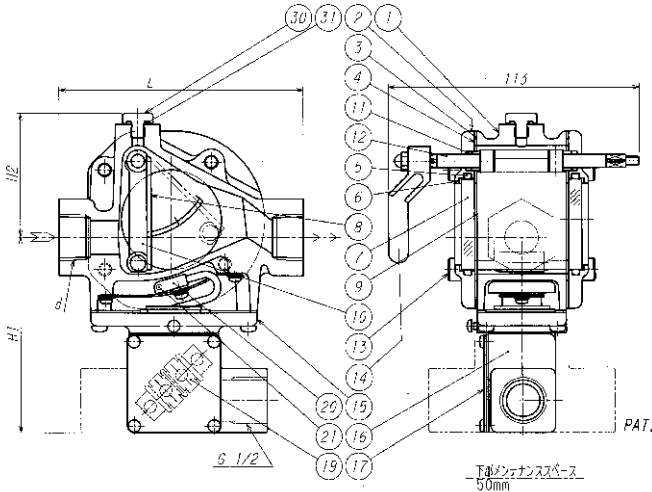


TYPE: -SHRT

ワイパ[®]内蔵 FLOW GAUGE

OPERATION MANUAL



| 呼び径 | d | L | H1 | H2 |
|-----|--------|-----|----|----|
| 10A | Rc 3/8 | 110 | 88 | 56 |
| 15A | Rc 1/2 | 110 | 88 | 56 |
| 20A | Rc 3/4 | 125 | 91 | 59 |
| 25A | Rc 1 | 140 | 91 | 59 |

配線図

スイッチ型式: I38
 定格値
 AC/DC200V MAX.
 10VA/W 1A MAX. (抵抗負荷)

①② SPST型
 配線ならび電源側の影響による定格外使用となり、リードスイッチを破損させることがあります
 外部からの影響が予測される場合には、ハリスカー抵抗等による接点保護対策を行なって下さい(オプション対応可)

| 部品表 | | | |
|-----|------------|---|----|
| 符号 | 部品 | 数 | 備考 |
| 1 | ボデー | 1 | |
| 2 | カバー | 2 | |
| 3 | ガスケット | 2 | |
| 4 | リング | 2 | |
| 5 | リング | 2 | |
| 6 | クッションガスケット | 2 | |
| 7 | サイトグラス | 2 | |
| 8 | フラップ | 1 | |
| 9 | ブラシ | 2 | |
| 10 | アラシホルダー | 2 | |
| 11 | リング | 2 | |
| 12 | スピンドル | 1 | |
| 13 | ボルト | 8 | |
| 14 | ナット | 1 | |
| 15 | ターミナルボックス | 1 | |
| 16 | ターミナルボックス | 1 | |
| 17 | 同上用カバー | 1 | |
| 18 | | | |
| 19 | ターミナル台 | 1 | |
| 20 | リードスイッチ | 1 | |
| 21 | リードスイッチ | 1 | |
| 30 | アラシ | 1 | |
| 31 | リング | 1 | |

※材質は納入図面を御参照下さい

① 仕様・性能

流体 水・油(粘度を定める)
 圧力 MAX. 1.0MPa 圧圧力 1.5MPa
 温度 常温~60°C(標準仕様)
 接点 構成 常用流量-OFF 常用流量-ON
 (信号) 減流量-ON 減流量-OFF
 開閉電圧: MAX. AC/DC200V
 接点容量: MAX. 10VA/W MAX. 1A (抵抗負荷)
 流量 常用流量、信号流量の多少によって適当なフラップ(P・A5・A 等)を装備します(注文時に決定)。

② 現品の確認

- 仕様が間違っていないか、銘板・検査票を確認して下さい。
- サイトグラスが損傷していないか。
- 接続管径寸法の確認。
- スイッチ、リード線が損傷していないか、テスター等で確認して下さい。
- スイッチが正しく動作するか、テスターを接続してワイパ・アラシを0点に置き、フラップを棒状のもので押上げ、適正な位置でON又はOFF動作するか確認して下さい。
- 適正な位置とは、動作流量が流量目盛に合った位置です。

③ 管接続の確認

- 水平配管に取付けて下さい(特殊仕様は別です)。
- サイトグラス面が垂直になるように取付けて下さい(サイトグラスが水平又は本体を傾けて取付けるとフラップが正常に動作しません)。
- 配管規格・サイズが違っているものを、無理に接続しないで下さい。
- 配管ミスが本体に直接かからないように注意して下さい。

④ スイッチ・リード線の接続確認

- 電源を切った状態で結線して下さい。
- 接点容量以上の負荷電力を接続しないで下さい。

⑤ 保守

A) サイトグラスの内面掃除

- ⑦サイトグラスに水垢等の汚れが付いた時、⑧アラシの動作が正常か確認する時に、ワイパ・ハンドルを数回回転して下さい。
著しく汚れる前に、定期的実施していただくことが有効です。
- 一般的には運転中に操作しても信号には影響がありませんが、⑧アラシの位置が断流・減流状態に在る場合は、フラップを押上げることで常流・増流の信号

が出ます。そのことが障害になる場合は、電源を遮断して操作下さい。

- 掃除が終わったら、必ず⑨アラシを0目盛以下に格納して下さい。
- ⑭ハンドル操作がアラシ掃除の他に、⑧アラシ-⑫スピンドル間のゴミ除去、フラップの動作確認、信号位置調整等に利用できます。

B) ボデーの分解掃除

- ⑭ハンドルの袋状部分をゆるめてハンドルを⑫スピンドルから抜き取る。
- ②カバー-(⑭ハンドル側のみ)③締付ボルト4本をゆるめて抜き取る。
- ②カバーを①ボデーから分解します。
- ⑫スピンドルを①ボデー側に残るように、⑫スピンドルの頭を押し付けながら②カバーを①から引き離して下さい。
- ⑦サイトグラスは②カバーに着いてきます。
- これで①ボデーの内部が全部見えます。
- 次に⑫スピンドルに⑩アラシ-⑧アラシが組み込まれたまま引抜いて洗浄して下さい。

以上で分解掃除は終了しました、組立ては分解順序の逆に行ってください。

※分解掃除を実施する時は、併せて③ガスケット④リングならび⑩リングの交換も併せてお願い致します(パッキン類の再利用は、漏れにつながる恐れがあります)。

C) スイッチ(信号流量)の調整・交換

信号流量の変更が必要が生じた時、又は焼損、その他の理由でスイッチ交換をする時は下記のとおり行って下さい。

※裸充電部に触れると思われる時は、電源を切って行って下さい。

- ⑮ターミナルボックスを外します(配線はつながったままですので、丁寧に外して下さい)。
- スイッチ取付けベースをゆるめて⑳スイッチを移動して行きます。
- 移動の方向は、信号流量を減らす時は0目盛方向へ、増やす時は10目盛方向へ移動させて下さい(但し10目盛方向への移動は5目盛迄です)。
- 流れを止めて⑧アラシを0目盛に戻します。⑨アラシを使ってフラップを移動して調整前の信号位置を確認します。
- 新たに調整する位置にフラップを移動停止します(流量表参照)。
- ⑳スイッチを移動して、テスターの動作位置が調整後の信号位置になります。フラップをアラシで数回動作させ、信号が正しいことを確認して下さい。
- スイッチ取付けベースを締付、⑮ターミナルボックスを取付けて完了です。

TAIYO VALVE MFG. CO., LTD.